

横浜市社会福祉協議会に車いす寄贈

ヤナセ労働組合（長岡真 会に車いす1台を寄贈し
人中央執行委員長）はこのた。社会貢献活動として収
ほど、横浜市社会福祉協議 集したアルミ製飲料缶リン



左から照屋支部長、長岡委員長、芳賀
常務、内藤副委員長

ヤナセ労働組合

グループ600キタダ（120
万本分）を車いすに交換し
たもので、寄贈は全国で5
台目。

ヤナセ労組の長岡中央執
行委員長、内藤貴啓中央執
行副委員長、照屋渉神奈川
静岡支部長が横浜市社会福
祉協議会を訪れ、寄贈式を
実施。長岡委員長は「組合
員と家族、さらに活動に共
感したお客様の協力でリン
グプルを集めた。大いに活
用していただきたい」と語
り、横浜市社会福祉協議会
の芳賀宏江常務は「この車
いすには何万人もの皆さん
の善意が詰まっていること
を、ぜひ利用者に伝えたい
」と感謝していた。寄贈
した車いすは右側にブル

&イエローのヤナセステッ
カー、左側にヤナセワーカー
1スユニオンのステッカー
を貼った。市内磯子区の新
杉田地域ケアプラザに配置
する。

ヤナセとグループ各社の
社員で組織するヤナセ労組
はエコキャップ収集や外貨
コイン寄付などさまざまな
社会貢献活動に取り組んで
おり、その一つがリングプ
ル収集による車いす寄贈。
2006年のスタート以
来、日本自動車会館をはじめ
札幌市、さいたま市、千
葉市の社会福祉協議会に車
いすを贈ってきた。今回寄
贈分のリングプル収集には
2年2カ月を要した。長岡
委員長は「今後も継続して
いきたい」としている。

（横浜）